

たけはら 災害復旧かわら版

発行：竹原市建設部
第2号

平成30年7月豪雨災害 竹原市復旧・復興プラン 「#がんばろう竹原」

今回の豪雨災害を教訓として、市民の暮らしの再建に向けた早急な復旧対策を進め、より安全で安心な災害に強いまちにするため、復興への新たな取組を市民とともに全力で進めていく必要があります。こうしたことから、今後の方針を明らかにした「平成30年7月豪雨災害竹原市復旧・復興プラン」を平成30年11月に策定しました。

基本方針 「みんなでつくる！」

元氣・笑顔あふれる強い竹原市の実現」

その中で、行政、市民、地域、企業などが一丸となって市民の日常生活と経済活動を早期に取戻すだけでなく、一日でも早い安全で安心な災害に強い竹原市を実現するため、基本方針を定めました。

また、早期に復旧・復興を果たすため、市民が一丸となる合言葉として、「#がんばろう竹原」を設定しました。

竹原市復旧・復興プラン まちの復旧

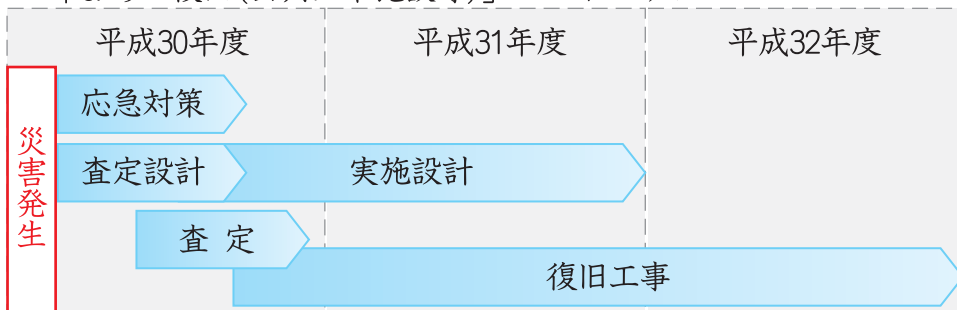
まちの復旧のうち、道路や河川などのインフラは、市民生活に欠かせない社会基盤であり、安全・安心に暮らせる環境を取戻すために、大変重要な部分となります。

このため、被災した道路・河川・橋梁・農地、林道等の復旧に優先順位をつけながら、市民の安全で安定した生活を一日でも早く取戻せるよう取り組めます。

また、被災した急傾斜地やがけ地については、周辺住民に二次被害を発生させないよう、その復旧・補強に取り組めます。

こうした取組のほか、広島県による治山事業や砂防事業等とも連携し、まちの復旧にむけて、早急かつ確実に取り組んでまいります。

▼「まちの復旧(公共土木施設等)」ロードマップ



▲被災直後の高山線



市道高山線が 復旧開通しました



▲被災直後

▼開通後



県道南方竹原線 が復旧開通しました

昨年7月の被災直後から通行止めになっていた小梨地区への県道南方竹原線が、2月28日に8か月ぶりに開通しました。

今回、豪雨災害に伴い緊急的に実施する砂防・治山に関する各機関の事業計画等がまとめられ、平成31年1月に、「平成30年7月豪雨災害 砂防・治山施設整備計画（緊急事業）」として公表されました。

広島県内では、溪流、がけ地で緊急的に対応を行う箇所として、要件に合致する301箇所が採択されており、そのうち、竹原市内で26箇所の対策事業が施行される予定です。

種 別	砂 防				治 山				合計
対応主体	国交省	広島県	市町	小計	林野庁	広島県	市町	小計	
広島県全体件数	20	111	68	199	39	59	4	102	301
うち竹原市		8	9	17	1	8		9	26

土木農業施設 の復旧状況 (4月1日現在)		契約済・工事中(件)	復旧完了(件)
	公共土木施設 (道路・河川など)	28	44
	農林業施設 (農地・林道など)	3	5
	計	31	49

※復旧完了した工事には、浚渫など応急工事が含まれます。